

世界中で喝采を浴びてきた珠玉作、待望の日本初上陸!

今、観るべき究極のフラメンコ!

さらに進化を遂げる、フラメンコ界の大スター・パヘスと、『プルートゥ PLUTO』で日本を震撼させた、あのシェルカウイが踊る!

2009年の初演以来、世界各国で上演され、フラメンコビエンナーレでは最優秀公演としてヒラルディージョ賞を受賞した名作が、ついに日本で初上演される。フラメンコの本場・スペインの有力紙エル・ペニスも「舞踊、音楽、歌すべてが揃っている。その美しさに観客は息を呑み、席から動けなくなる。絶対に観に行くべき公演」と絶賛する注目の話題作だ。

2004年に初めて顔を合わせて以来、運命的な偶然の再会を重ね、共同創作に至った二人。約3年の歳月をかけて創りあげられた『DUNAS』は、パヘスにとっては、これまでの創造性豊かな作品づくりの方向性に、さらにアーティスティックな深みが加わることとなった、ダンサー人生の転換点と言うべき重要な作品。

シェルカウイにとっては、異なるジャンルの大スターとの初コラボ作であり、あらゆる異文化と積極的にかかわるという彼のアーティストとしての姿勢に、大きな影響を与えた作品と言える。シェルカウイは、今年1月、人気漫画を驚くべき多彩な表現方法で舞台化した『プルートゥ PLUTO』の演出・振付で、シアターコクーンを熱狂の渦に包んだばかり。「舞台に立って踊ることが何よりも好き!」と語る彼のダンサーとしての希有な魅力を堪能できる、これ以上絶好のタイミングはないだろう。

初演から再演を重ね、アーティストとしても円熟の域に達した二人が贈る“究極のフラメンコ”をお見逃しなく。



Maria Pagés
マリア・パヘス

15歳でアントニオ・ガテス舞踊団に入団。1990年に、自身の舞踊団Maria Pagés Compañía(マリア・パヘス舞踊団)を設立、振付家としての才能も開花。1994年には「リバーサン」で出演、世界的な人気を博した。近年日本では「UTOPIA ~ユートピア~」(2013年)『Yo, Carmen 私が、カルメン』(2015年)で鮮烈な印象を残し、そのドラマチックなスタイルや、色彩豊かな衣装がファンが多い。



Sidi Larbi Cherkaoui
シディ・ラルビ・シェルカウイ

現代舞台芸術を牽引する天才振付家・ダンサー・演出家。ベルギー王立フランダース・バレエ团芸術監督。2014年には母国ベルギーでその活動が高い評価を得て国王から爵位の名前称号が授与される。Bunkamuraとは、手塚治虫の思想・生涯をダンスで展開した『テヅカ TeZukA』(オーチャードホール/2012年)、『プルートゥ PLUTO』(シアターコクーン/2015年、2018年1月上演)があり、振付・演出家として馴染み深い。

DUNASとは?

作品のタイトル『DUNAS』は、
スペイン語で“砂丘”的意味。

地球や自然に魅力を感じていた二人は、
木や根、土、砂…と連想していく中で、“砂丘”に辿りついた。

平和で広大、開放的でメランコリックでもあり、
喜びや悲しみなど様々な感情を呼び起こす言葉、DUNAS。

その詩的な響きに惹かれた二人は、
「常に風によって姿を変える砂丘のように、自由でありたい、
お互い刺激を受けながら変わり続けたい」という

願いをタイトルに込めた。
対立よりも出会いを尊ぶ人間関係へのメッセージ、
フラメンコのルーツであるロマ(ジプシー)たちが
かつて灼熱の砂丘を踏みしめてきた想いを、
“砂丘”に見出していく。



パヘスとシェルカウイが贈る 神秘のデュエット!

体格や流れるような手の動きなど、二人の共通点を活かし、互いの作品世界に敬意を持ちながら振付。一見即興のように見える部分も、実はミュージシャンと話し合いながら、緻密に作り上げている。シェルカウイは「パヘスは、関節の使い方がすごく上手。踊る上で色々な選択をするが、それが正確で明確」と評し、パヘスも彼を「特に空間の使い方に優れ、ひとつのステップも全ての要素を考慮して作品を作っている」と語る。“フラメンコ”“コンテンポラリーダンス”という枠にとらわれずに、二人の動き、リズム、流れに注目してみて!

一瞬にしてエキゾチックな世界に誘う、 魅惑の音色!

奇蹟のコラボレーションを彩るのは、魂を揺さぶる音色を奏でる名手たちの生演奏。パヘスの信頼も厚いカンタオーラ(歌い手)アナ・ラモンの、ときに泣き叫ぶかのように心の奥底からこみ上げる感情を露わにする歌、そこに巧みに寄り添い引き立てる情熱的なギター。フラメンコとは違う味わいをもつアラブ・アンダルシア音楽の歌手の、恍惚感に満ちた声。そして、現代音楽に精通したピアニストやヴァイオリニスト——この作品ならではの多国籍なミュージシャンのアンサンブルは、心震える深い感動へと誘うだろう。



動く絵画のような 美しさに満ちた世界!

伸縮性のある布に、照明を当てたり影を映したりと試行錯誤を重ね、舞台セットとして使用。10mもの布を踊りながら操ることで、変容し続ける砂丘や、月夜、人と人との境界など、まさにDUNASそのものを表現していく。シェルカウイが描く砂絵を大きく映し出したこの布によるスクリーンにあわせて、パヘスが踊るソロも圧巻!自然が好きで「木になりたい!」という彼のために木を描くシーンも。舞台セットをも動きに取り入れ、砂丘を出現させてしまう二人のイメージーションに、あなたも魅了されるに違いない。

